

あいの広場

1月届出分

- お誕生おめでとう (敬称略)
- (出生児) (保護者) (公民館)

若松 彪斗 哲哉 岩之上
H15. 1.2生まれ

- おくやみ申し上げます (敬称略)
- (死亡者) (届出人) (公民館)

岡村 カワ 101 博幸 鶴宮 園
山下 次郎 87 和徳 麓
谷口 光子 69 昭美 谷川

善意の灯火 (1月分)

- 香典返し (敬称略)
- 谷口 寄贈者 美 (故 光子) (公民館)

休日在宅医

3月 9日	医師会病院 (内外児)	53-0326
	川添医院 (内児) 樋脇町	37-2017
16日	宮之城病院 (精神科)	53-0180
21日	立志病院 (内科)	55-9119
	松尾医院 (内放) 樋脇町	42-0027
23日	MKリハビリテーション病院 (内科)	53-1704
30日	稲津病院 (外科)	52-3355
	薩摩町立診療所 (内科) 薩摩町	57-0020
4月 6日	海江田医院 (外科)	53-0006
	市比野温泉医院 (内科) 樋脇町	38-0037

世帯数と人口

1月31日現在住民基本台帳

世帯数	1,842戸	(前月比 +2戸)
人口	5,031人	(前月比 +4人)
男	2,372人	(前月比 +3人)
女	2,659人	(前月比 +1人)

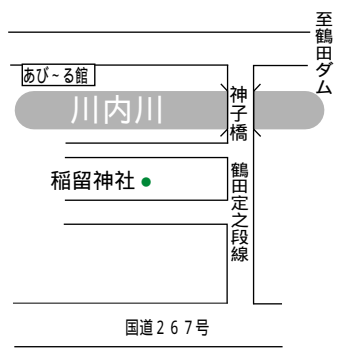
シリーズ60

ふるさと いいとこ歩き

あびる館の対岸、櫃ヶ迫にあり、稲留大明神とも呼ばれています。
よそには、稲富神社・稲荷神社・保食神社・請持神社があります。主神は同じで豊受毘売神です。
この神は、人の主食「五穀」米・粟・黍・豆が豊かに実る神として崇められ、豊作によって、地域が安泰することから、地域の鎮守の神としても大切にしてきました。
神社入口に、左(櫛磐間戸神)・右(豊磐間戸神)の門守神も祀られています。主神は、豊受大神ですが、

大宮姫命・猿田彦神なども合祀されているということです。古文書によりますと、昔は神子村の村社で、社地も6畝近くあるが、創建の年月は不明だとあります。また、神体は石像の3体で、どれも37センチほどと示してあります。網を引いて鳴らす鈴みたいなもの「鰐口」もあつたということです。
周囲の小字に、宮脇・宮原・大明神前・大明神後などがありますので、昔は、祭りなど盛んで賑わい、地域の人々に尊敬され、大切にされてきた神社といえることができます。

ちなみに、求名の稲富神社は、昔は稲富大明神と呼ばれていたり、稲荷大明神と呼ばれていますが、これらのことは、神社を作り直すときに書き残された棟札に詳しく書かれているので由来が分かります。櫃ヶ迫の神社には、棟札がありませんので詳しいことは分かりません。
なお、稲荷神社は、島津氏の守り神とも言われています。初代忠久は、大阪の稲荷神社近くで、雨の日に生まれたというのに由来しています。



稲留神社

稲留神社